

9月 新着図書

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。

野庭すずかけコミュニティハウス

図書館の子

著者名：佐々木譲

◎1937年の東京。隅田川で拾われた男が病院に運ばれてくる。身元不明の男は記憶を失っていたが、なぜかこれからやってくる戦禍の時代を知っているかのような様子。「遭難者」◎とある北の国。猛吹雪の夜、図書館に一人の少年が取り残された。暖房もない極寒の館内。そこに突然現れた謎の男は少年を救い、やがて大切なことを伝え始めた——。「図書館の子」時とたたかい、時に翻弄される者たちを描く全六編。

破局

著者名：遠野遥

 芥川賞

私を阻むものは、私自身にほかならない——ラグビー、筋トレ、恋とセックス。ふたりの女を行き来する、いびつなキャンパスライフ。28歳の鬼才が放つ、新時代の虚無。

いちねんかん

著者名：畠中恵

江戸の店長崎屋の主夫妻が旅に出かけ、父から店を託された若だんなは大張り切り。しかし、盗人に狙われたり、奉公人となった妖が騒ぎを起こしたり、相変わらずのてんやわんや。おまけに江戸に疫病が大流行！ 長崎屋に疫病神と疫鬼が押しかけてくるし、若だんなは無事に長崎屋と皆を守れるの?? 波乱万丈なシリーズ最新刊。

オフマイク

著者名：今野敏

二十年前に起こった大学生自殺と現役大物政治家の黒い人脈。二つを繋ぐ人物を追ううちに見えてきた意外な真実とは——。報道番組の名物記者・布施と継続捜査担当の敏腕刑事・黒田は、情報を求めて今夜も街を駆け回る!“スクープ”シリーズ待望の最新作。

首里の馬

著者名：高山羽根子

 芥川賞

沖縄の古びた郷土資料館に眠る数多の記録。中学生の頃から資料の整理を手伝っている未名子は、世界の果ての遠く隔たった場所にいるひとたちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの仕事をしてきた。ある台風の夜、幻の宮古馬が庭に迷いこんできて……。世界が変貌し続ける今、しずかな祈りが切実に胸にせまる感動作。〈第163回 芥川龍之介賞〉

一人称単数

著者名：村上春樹

短篇小説は、ひとつの世界のたくさんの切り口だ。6年ぶりに放たれる、8作からなる短篇小説集。

毒島刑事最後の事件

著者名：中山七里

史上最悪の刑事VS史上最底の犯罪者SNSの悪意×匿名性×依存性が引き起こす災厄。鋭い舌鋒で容疑者を落とす百戦錬磨の刑事・毒島が、卑劣な敵を相手に最後の戦いに挑む。刑事・毒島は警視庁随一の検挙率を誇るが、出世には興味がない。犯人を追うことに何よりも生きがいを感じ、仲間内では一を話せば十を返す能弁で煙たがられている。そんな異色の名刑事が、今日も巧みな心理戦で犯人を追い詰める。大手町の連続殺人、出版社の連続爆破、女性を狙った硫酸攻撃……。捜査の中で見え隠れする<教授>とは一体何者なのか?かつてない強敵との勝負の行方は——。手に汗握るノンストップミステリ!

ビブリア古書堂の事件手帖

・2

著者名：三上延

～扉子と不思議な客人たち～
～扉子と空白の時～
ビブリア古書堂に舞い込んだ新たな相談事。それは、この世に存在していないはずの本一横溝正史の幻の作品が何者かに盗まれたという奇妙なものだった。どこか様子がおかしい女店主と訪れたのは、元華族に連なる旧家の邸宅。老いた女主の死をきっかけに忽然と消えた古書。その謎に迫るうち、半世紀以上絡み合う一家の因縁が浮かび上がる。深まる疑念と迷宮入りする事件。ほどけなかった糸は、長い時を超え、やがて事の真相を紡ぎ始める——。